

実務経験のある教員等による授業科目一覧

医療専門課程 歯科衛生科(2021年度)

配当 年次	授業科目名	実務経験のある教員授業で身に着く力	授業 時数	単位 数	授業方法			教員 (実務経験)
					講義	演習	実習	
1	歯科衛生士総論	歯科衛生士の意義・役割・使命について理解するために、歯科の歴史的変遷と歯科衛生士を取り巻く社会的背景、歯科衛生士の業務について修得する。	30	2	○			橋本 理恵: 歯科衛生士として、一般歯科医院6年の実務経験を実務経験を持つ教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
1	歯科英語	日本語を母国語としない患者に対しても、医療従事者として意思疎通を図れるよう、また発展を続ける歯科医学に対して英語文献を介した接触ができるよう、基礎的な知識の習得に努める。	15	1	○			田村 覚美: 歯科衛生士として、一般歯科医院5年の実務経験を実務経験を持つ教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
1	保健指導論Ⅰ	歯科医学の基礎となる生化学の重要性を認識し、歯科衛生士として必要な知識を学習し、理解を深める。	135	3			○	橋本 理恵: 歯科衛生士として、一般歯科医院6年の実務経験を実務経験を持つ教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
1	歯科診療補助論Ⅰ	歯科診療補助に関する知識を会得し、歯科診療補助を行うにあたっては、その内容を具体的に理解し、診療の流れにそって活動するために学ぶ。	90	2			○	田村 覚美: 歯科衛生士として、一般歯科医院5年の実務経験を実務経験を持つ教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
1	歯科予防処置論Ⅰ	講義・実習を通して、歯科予防処置等の業務に関する、しっかりした手技の訓練、生体に対する配慮ができるように知識および技術を学ばせ、理解させる。	90	2			○	内田 綾: 歯科衛生士として、一般歯科医院10年の実務経験を実務経験を持つ教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
1	社会福祉学	歯科衛生士として必要な医療保険制度・社会福祉制度の基本知識を学習し、業務に反映できるよう理解を深める。	15	1	○			森戸 美恵: 歯科衛生士として、一般歯科医院7年半の実務経験を実務経験を持つ教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
2	保健指導論Ⅱ	歯科衛生過程をすすめていく上で必要となる知識と技術を身につけるとともに実際に歯科衛生診断、計画立案、評価等、歯科衛生過程に必要な能力を身につける。	90	2			○	大竹 紀子: 歯科衛生士として、一般歯科医院11年の実務経験を実務経験を持つ教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
2	実例演習Ⅰ	実習を通じて関わった症例を報告し、報告を通じて、状況把握力と問題点の把握力を養い、症例についての対応の仕方を学ぶ。	30	1		○		橋本 理恵: 歯科衛生士として、一般歯科医院6年の実務経験を実務経験を持つ教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
2	基本技術実習	臨床に応用できる実践力を身につける。事例を用い、歯科衛生士アセスメント～歯科衛生評価に至るまで、歯科衛生過程の実践を学ぶ。	45	1			○	森戸 美恵: 歯科衛生士として、一般歯科医院7年半の実務経験を実務経験を持つ教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
2	障害者歯科論	歯科診療を中心として、スペシャルニーズのある人に対して行われるべき歯科保健と歯科治療に関する基本的な知識と技術を学ぶ。	15	1	○			岩片 真己: 歯科衛生士として、総合病院5年、一般歯科医院3年の実務経験を実務経験を持つ教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
2	歯周予防処置論Ⅱ	歯科予防処置の概要を知ることにより、歯科衛生士が行う専門的な業務内容を学び、歯科疾患の予防方法を説明できることを目的とする。	270	6			○	森戸 美恵: 歯科衛生士として、一般歯科医院7年半の実務経験を実務経験を持つ教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
2	歯科診療補助論Ⅱ	様々なライフステージにおける高度歯科医療に対応するために、専門的な歯科診療の補助に関する基礎的知識、技術及び態度を身につける。	270	6			○	岩片 真己: 歯科衛生士として、総合病院5年、一般歯科医院3年の実務経験を実務経験を持つ教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。

配当年次	授業科目名	実務経験のある教員授業で身に着く力	授業時数	単位数	授業方法			教員 (実務経験)
					講義	演習	実習	
2	高齢者歯科論	高齢社会における歯科医療の現状と将来展望について説明する。	30	2	○			内田 綾: 歯科衛生士として、一般歯科医院10年の実務経験を有する教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
2	臨地実習Ⅰ	ライフステージごとの歯科保健指導能力を養うための手段として保育園・幼稚園・小学校・中学校等において歯口清掃指導の実習を行う。	135	3		○		森戸 美恵: 歯科衛生士として、一般歯科医院7年半の実務経験を有する教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
2	臨床実習Ⅰ	歯科診療所における歯科衛生士の役割を理解し、円滑に診療補助並びに直接対面行為をする事ができる能力を身につける。	90	2		○		森戸 美恵: 歯科衛生士として、一般歯科医院7年半の実務経験を有する教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
3	実例演習Ⅱ	臨地実習及び臨床実習を通じて関わった症例を報告し、報告を通じて、状況把握力と問題点の把握力を養い、症例についての対応の仕方を学ぶ。	30	1		○		大竹 紀子: 歯科衛生士として、一般歯科医院11年の実務経験を有する教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
3	総合演習Ⅰ	これまでに学習した知識のまとめを目的とした授業を行う。授業は過去の国家試験問題を題材として、学生諸君自らによる解答と解説の作製を中心に進めていく。	30	1		○		大竹 紀子: 歯科衛生士として、一般歯科医院11年の実務経験を有する教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
3	臨地実習Ⅱ	病院での入院患者様や、重度の知的障害や重症心身障害のある方が利用される社会福祉施設での口腔ケアを通して、医療人としての資質を高める。	135	3		○		大竹 紀子: 歯科衛生士として、一般歯科医院11年の実務経験を有する教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
3	臨床実習Ⅱ	歯科診療所における歯科衛生士の役割を理解し、円滑に診療補助並びに直接対面行為をする事ができる能力をさらに身につける。	540	12		○		大竹 紀子: 歯科衛生士として、一般歯科医院11年の実務経験を有する教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
3	歯科診療補助論Ⅲ	様々なライフステージにおける高度歯科医療に対応するために、専門的な歯科診療の補助に関する応用的知識、技術及び態度を身につける。	45	1		○		高島 すみれ: 歯科衛生士として、一般歯科医院4年の実務経験を有する教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
3	総合演習Ⅱ	これまでに学習した知識のまとめを目的とした授業を行う。授業は過去の国家試験問題を題材として、基礎を中心に進めていく。	30	1		○		大竹 紀子: 歯科衛生士として、一般歯科医院11年の実務経験を有する教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
3	総合演習Ⅲ	これまでに学習した知識のまとめを目的とした授業を行う。授業は過去の国家試験問題を題材として、応用問題を中心に進めていく。	60	2		○		大竹 紀子: 歯科衛生士として、一般歯科医院11年の実務経験を有する教員が「生きた知識」等を学べる授業をおこない、実践的な教育をおこなう。
実務経験のある教員等による授業科目の授業時数合計			2220					